


## ● エバユーススリムF

## 【使用上の注意】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないで下さい。  
他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。



## 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
  - (1) 医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
  - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
  - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人
  - (5) 発汗傾向の著しい人
  - (6) 高齢者
  - (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人

## 【解 説】

1. 共通事項解説〔2〕
2. ダイオウに含まれるアントラキノン誘導体は母乳に移行することが知られています。  
その母乳を乳児が摂取すると下痢を起こすおそれがあるので、授乳中は服用しないか、服用する場合は授乳を避ける必要があります。
1.
  - (1) 共通事項解説〔4〕参照
  - (2) 共通事項解説〔5〕参照  
なお、本剤には瀉下作用のあるダイオウ、乾燥硫酸ナトリウムが配合されているので、大腸を刺激し、腸管の蠕動を亢進させる一方、下腹部に充血を起こして流・早産を誘発するおそれもあるので、服用には慎重を期す必要があります。
  - (3) 本剤は体内の自家中毒物の排泄、解毒を目的としている瀉剤です。体の虚弱な人(色白といっても蒼白、体は痩せ型で体力がない)の場合、漢方では補剤を用いて治療をすることになっています。  
瀉剤である本剤を使用することは相反する治療を行なうことなので注意が必要です。
  - (4) 一般に、胃腸の弱い人は体力がないことが多く、体力のない人にダイオウ・乾燥硫酸ナトリウムを配合した本剤を服用させると下痢や腹痛等の症状を起こし、体力を消耗させることとなります。
  - (5) 本剤は、発汗作用があるので、発汗傾向の著しい人が服用すると発汗過多や脱汗(大汗をかく)状態となり、全身脱力感等があらわれるおそれがあります。
  - (6) 共通事項解説〔6〕参照
  - (7) 共通事項解説〔7〕参照

## ● エバユーススリムF

### 【使用上の注意】

- (8) 次の症状のある人  
むくみ、排尿困難

- (9) 次の診断を受けた人  
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹部膨満、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

### 【解 説】

- (8) 記載されている症状のある人は、下記のような理由で服用前に相談が必要です。

- むくみ  
カンゾウ中のグリチルリチン酸を大量に摂取すると、ナトリウム貯留、カリウム排泄促進が起こり、浮腫、高血圧、四肢麻痺、低カリウム血症等の症状があらわれるおそれがあります。  
これらの症状は、偽アルドステロン症として報告されています。いずれも服用中止により緩解していますが、高齢者、高血圧、心臓病、腎臓病の人は注意が必要です。
- 排尿困難  
マオウの主成分エフェドリンの交感神経刺激作用により、膀胱の緊張が減少することがあるため、症状が悪化し、さらに尿が出にくくなるおそれがあります。また、前立腺肥大がある場合には、尿閉があらわれるおそれがあります。

- (9) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、服用前に相談が必要です。

- 高血圧、心臓病  
マオウの主成分エフェドリンの交感神経刺激作用により、血圧を上昇させ、心拍数を増加させるため、高血圧、心臓病を悪化させるおそれがあります。  
また、カンゾウの作用により、血圧上昇等のおそれがあります。
- 腎臓病  
カンゾウ中のグリチルリチン酸を大量に摂取すると、ナトリウム貯留、カリウム排泄促進が起こり、尿量減少、浮腫、高血圧、四肢麻痺、低カリウム血症等の症状があらわれ、腎臓病を悪化させるおそれがあります。特に腎臓病のある人は、一般に薬剤の排泄が遅く、マオウ等の作用が強くあらわれるおそれがあるので、注意が必要です。
- 甲状腺機能障害  
マオウの主成分エフェドリンの交感神経刺激作用により、甲状腺機能亢進症(動悸、発汗、手のふるえ、いらいら等)の症状を悪化させるおそれがあります。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

→次のページに続く

## ● エバユーススリムF

### 【使用上の注意】

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

下痢、便秘

4. 1カ月位(便秘に服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

### 【用法・用量に関連する注意】

食間とは食事と食事の間で、前の食事から2～3時間後のことです。

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 5歳以上の小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

### 【解 説】

→2.の続き

下記のような重篤な症状があらわれたら、直ちに服用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。

- 間質性肺炎  
重篤な症状の解説〔8〕参照
  - 偽アルドステロン症、ミオパチー  
カンゾウ中のグリチルリチン酸の大量服用により起こることがあります。  
重篤な症状の解説〔9〕参照
  - 肝機能障害  
重篤な症状の解説〔5〕参照
  - 腸間膜静脈硬化症  
サンシシにより起こることがあります。  
重篤な症状の解説〔17〕参照
3. 一過性の軽い副作用としてあらわれることがあります。直ちに服用を中止する必要はありませんが、症状が持続したり増強する場合は、服用を中止して専門家に相談する必要があります。
- 下痢  
下剤成分のダイオウ等により、あらわれることがあります。
  - 便秘  
本剤の服用により、あらわれることがあります。
4. 慢性症状に対しては1カ月、便秘に用いる場合1週間位の服用で症状の改善がみられない場合には、本剤が体質に合わないか、他の原因も考えられるので、専門家に相談する必要があります。
5. カンゾウ中のグリチルリチン酸の長期・大量摂取により、偽アルドステロン症があらわれるおそれがあるので、専門家に相談する必要があります。

本剤は食間に服用することにより、効果が高まる漢方製剤であり、服用のタイミング(食間)の説明をしています。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照

## ● エバユーススリムF

【使用上の注意】	【解 説】
【保管及び取扱い上の注意】	
1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。	1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。	2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)	3. 共通事項解説〔13〕参照
4. ぬれた手で取り扱わないで下さい。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて、変色又は色むらを生じることがあります。また、ぬれた錠剤をビンに戻すと他の錠剤にも影響を与えますので、戻さないで下さい。	4. 共通事項解説〔14〕参照
5. 容器の中の詰め物は輸送中の錠剤破損防止用ですので、開封後は捨てて下さい。	5. 共通事項解説〔15〕参照
6. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。	6. 共通事項解説〔17〕参照